

きらり

毎日、早朝に県道岐阜関ヶ原線沿いで、ゴミ拾いに汗を流しておられる「岐阜掃除に学ぶ会」の代表世話人であり、(株)タニサケの会長でもある松岡 浩(三和町)さんへのインタビューです。



1. 早朝、チリトリとカマを持っての道路沿いの掃除はいつ頃から? そのきっかけは?

会社のトイレの掃除をいつも行っていたが、社員がやってくれるようになり、約10年前から会社周囲のゴミを拾うようになった。きっかけは、ダンボールが県道の歩道一面に散らかっていて、日本(池田町)の恥だと思い拾ったことです。雨の日も暑い日も続けていると習慣となり、拾わずにおれない。自分の心を鍛えていると思っています。

2. 「岐阜掃除に学ぶ会」の活動は?

県下の小・中・高校のトイレを磨く会です。先生・児童・生徒・保護者・地域の皆さんが参加されます。汚いトイレを磨くことで、学校の雰囲気明るくなり参加者の心も磨かれる。

3. トイレ掃除で全国を廻っておられるようですが、遠くはどこまで?

全国に「掃除に学ぶ会」があり、参加している。北海道や沖縄にも行きます。ブラジルや台湾にも参加している。外国には毎年一回、私費で参加している。

4. 反響は?

いやいや義理に参加された方でも、掃除の後は大変すがすがしい気持ちになれると喜んでもらえる。外国の「掃除に学ぶ会」は規模が大きく数千人が参加する。

5. これからの活動の目標は?

ひたすら掃除を続け、自分を鍛える。また、全国の経営者を対象として行う無料の体験研修「タニサケ塾」と全国への講演活動を続けていきたい。(坂口 博)



毎日毎朝、猛暑の中、50分間のゴミ拾い

編集後記

東海地方にも、例年より十三日も早い梅雨明けの発表がありました。いよいよ夏本番。

東日本大震災後四ヶ月が経過、一日も早い復興と、この夏場の衛生面の適切な対応を切に望みます。

七月四日、養老町役場へ、広報編集委員の研修に行き、活発な意見を交換しました。いかに町民にわかりやすく、親しんでもらえるか、試行錯誤し、奮闘してみえました。

私達も正しい情報をわかりやすく、町民の皆様にお知らせ出来るよう、一同努力していきます。



養老町での広報研修

(坂口 博)

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催し物へ差し入れることを禁止されています。
有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。